



新生活、出会いと別れ、卒業、再会、新しい自分...

～春ってそういう季節～



『一人っ子同盟』

重松清 著 新潮社

今回は、別れの季節ということで切ない別れのお話です。

この物語は気が強い、両親が離婚した一人っ子ハム子と交通事故で兄を亡くして一人っ子になった、ノブ。二人は同級生に「一人っ子同盟」という名の同盟を組まされる。ノブとハム子は同じ棟の団地に住んでいる小学6年生。そんなある日、ハム子に母の再婚で4歳の弟ができる。そして、ノブの下階に年下の転校生オサムがくる。オサムの両親はオサムが幼いころに亡くなったため、オサムは親戚にたらい回しにされている。オサムはとてもお調子者で大ウソつきだったため転校早々みんなから避けられ、友達がいなくなりノブと遊ぶようになったが、ノブもオサムのことは好きではなかった。しかしオサムと接していくとわかる事実があった。施設に行くか、親戚の家に行くかの選択に迫られていた。オサム自身が幸せになれるのはどちらか？

ハム子の家に来た弟は姉のことが大好きだが、ハム子は冷たく接する。さらにハム子は新しいお父さんのことを「さん」付けで呼び、お父さんと認めなかった。

小学校最後の行事の修学旅行で弟と新しいお父さんにハム子は「がいこつのキーホルダー」を買ってきた。しかし、家族全員での食事会の時にハム子が先に帰ったことをきっかけに家族はバラバラになってしまふ。そして、ハム子の転校によって、一人っ子同盟の二人も離れていく。

この物語は今の時間をどう生きるか、今の大切な友達とどう接するかを問われているような作品です。この物語をぜひ読んでみて下さい。考え方が変わるかもしれません。

『タイムカプセル』

折原一 著 理論社

栗橋町立栗橋北中学校を卒業した鶴巻賢太郎、湯浅孝介、三輪美和、
富永ユミ、佐々倉文雄、石原綾香ら六人は卒業式の日タイムカプセル
を埋めた。二十年後またここで会おうと誓い…。

大学を卒業し、フリーカメラマンとなった石原綾香はある悩みがあったのだ。ネタがない、ということに。そんな彼女はふとしたときに見つけた中学の卒業アルバムからこんなネタを考えついた。

「タイムカプセルー今、あなたは何をしていますか？」
…そんな時綾香にある人からの電話が来た。三輪美和からだ。男まさりすぎて、美和は美和とからかわれるくらいのやつだった。そんなこんなで美和と会うことになった綾香は、美和からこんなことを言われる。「手紙が届いたのよ～タイムカプセルの案内の手紙。」差出人が分からない謎の案内状。いったい誰が何のために送ったかも分からないもの。これは美和だけでなくタイムカプセルを埋めた人それぞれに送られていたのだ。その手紙のおかげ？もあつたのか六人が集まる。そして話の中でタイムカプセルを埋めた人の話が挙がる。六人に加え先生も一緒だったのだがそれ以外にもう二人がいたことが分かった。不破 勇と大河原 修作である。二人は不登校だったのだがタイムカプセルを埋めた中の二人だった。埋める日には来ることはなく、先生が入れる物を預かって入れた、とのことだった。話のなかで、不破と大河原を探すことになる。そして、消えてしまう湯浅、不破の正体、卒業式後の出来事、案内状の差出人とは…？

この話は、卒業式の日埋めたタイムカプセルが中心になって、物語が進んでいきます。最初には分からなかったことも本が終わりに近づいてくると紐解けてきます。冬も終わってきて、ゆっくりとできるようになる季節にこの一冊を読んでみてはいかがでしょうか。

『カチューシャ』

野中ともそ 著 理論社

僕をとりまく宇宙のその中心に、あの子はすたとんと落下してきた。口が悪くて、すばしっこくて、とびきりいけてる女の子、カチューシャ…。のんびり主人公かじおは高校生になっても変わらない。あんまりにのろまだからあだ名は牛が由来のモー、体育のリレーではゴールテープを切れないし、テストは最後まで解けた試しがない。給食を食べるのだって、勿論とてつもなく遅かった。

「ゆっくり食べるってのもそう悪いことなんじゃないんだぞ。そのぶん、たっぷりいろんな味を楽しめるし、食べ物の色だって鑑賞できるからな」

しかしそんなかじおをのびのびと育てる料理研究家のお父さんは、呑気に今日も煮豆をよそう。何ならかじおも、そこまでのろまなことを気にしてはいなかった。

このままでは話が終わってしまう。そこに彗星の如く現れたのが転校生伊藤ちづる、ことカチューシャだった。鮮やかなオレンジ色の細い髪に、血が透けた白い肌、父親から引き継いだロシアの緑色の瞳。言わずもがな瞬く間に学校の人気者となったカチューシャは、釣り好きな叔父のショウセイ 何故か仲の良い不良の香坂、そしてかじおの世界までも巻き込んでいく――。

青春が、何か新しいものを取り入れた瞬間に、化学反応を起こして飛び散る火花そのものを指すとしたら、新しくかじおの中に入ってきたカチューシャはどんな火花を散らしてくれるのか……「変化」という勇気のいるキーワードに何故だか胸がはずむ、心のビタミンな一冊です。

『きみが見つける物語 運命の出会い編』より 「17レボリューション」

森絵都 著 角川書店

皆さんは、何か新しいことを始めようとするときにどんな感情を抱きますか？わくわく？それとも、不安でいっぱい？今回、紹介するのは、失恋をきっかけに“新たな自分”になろうと一念発起するお話です。

主人公の千春^{ちはる}は十七歳の誕生日に、今までの自分を変えるため、親友のイツモに「一年間、絶交してくれ」と言い渡すところから物語が始まります。周囲の人間に振り回されずに生きていくために＜イキのいい＞を一番の価値基準にしていきます。そのため、イキのいい友達と一緒にいるようになっていきます。

そういう時間をすごしていくうち、イキのいい友達は増えたが、無意識のうちになにか物足りなさを感じていくようになります。

ある日、“自分革命”をするキッカケになった失恋相手、真野信輔^{まののしんすけ}と学校内ですれ違い、「無理しているんじゃない？」と問われます。質問の意図に気がついた千春は、塩対応でその場をやり過します。しかし、信輔から離れたとたん、なぜか泣けてしまいました。

あれこれ思い悩みながらも少しずつ成長していく千春。最終的に一番大事な価値基準が、＜一緒にいて落ち着くか、落ち着かないか＞ということに気づいて……。

結局、“自分革命”は失敗した千春だが、この年代特有の悩みや成長などの雰囲気めいっぱい感じられる作品です。



*****ひばりが丘図書館 YA コーナーリニューアル！*****

新しくYA専用閲覧席を設けました。本棚では、「進路」「部活」「勉強法」という3つのテーマから本が探せるようになりました。また、中学生のおすすめ本のPOP展示も行っています。

新しくなったひばりが丘図書館のYAコーナーに、ぜひお越しください。



YA! YA! ひろば



柳沢

至さん 上手ですね!

また スキな絵をお願いします!!

「A3!」ってどんなゲームなんだろウ!?

気になる...



ペンキョーの息抜きに描きました。

ハマってるゲーム『A3!』の至さんです。

A3! はれんしゃー中...

お仲間さんがいたらいいなと思います。

A3! 好きさん広まれえー。

私は春夏推しです。

至さん描いてますが 咲也推しです!

お機会があったら描きたいです。

春夏推しのガーママでした。

咲也



至さん
また絵
お願いします!!

たろち





「名探偵 夢水清志郎」、面白いですね!
私は特に「消える総生島」が好き♡

みゆが丘

キノコ(ちゃん?くん?)もカワイイ

オススメの本

私がオススメする本は ほやみね (本と無関係)
かおるまんが書いた「名探偵
夢水清志郎」シリーズです。
このお話は名探偵の夢水
清志郎が そくりの3つ子、
亜衣 真衣 美衣と事件を解
いていくというものです。
一番の見どころは ほやみねマ
ンが書く事件の世界観です。
いつのまにか物語の中に
飲み込まれていくような感覚
が不思議と同時にとても楽
いのです!!
みなさんぜひ読んでみて下さい。

それでは



むしろは、でも今年も本を沢
山読みたいですね。年間3ヶ月読
めれば良い方なんです。一冊一冊
読解までしてるとそうもいかず、
頑張ることに変わりはないね！(竜胆)